

令和9年度

静岡大学大学院山岳流域研究院
(修士課程)

12月学生募集要項

令和8年9月



静岡大学

令和9年度静岡大学大学院山岳流域研究院(修士課程) 12月学生募集要項

◇静岡大学の理念と目標◇

理念「自由啓発・未来創成」

この理念は、教育だけでなく、なにごとにも捉われない自由な発想に基づく独創的な研究、相互啓発的な社会との協働に不可欠であり、時代を越えて受け継がれるべきものです。静岡大学の学生・教職員は、このような認識の下で、教育、研究、社会連携・産学連携、国際連携の柱として、「自由啓発」の理念を引き続き高く掲げ、共に手を携えて地域の課題、さらには地球規模の諸問題に果敢にチャレンジするとともに、人類の平和と幸福を絶えず追求し、希望に満ちた未来を創り出す「未来創成」に全力を尽くします。

静岡大学は、以上のような意味での「自由啓発・未来創成」の理念の下、静岡県に立地する総合大学として、地域の豊かな自然と文化に対する敬愛の念を持ち、質の高い教育、創造的な研究による人材の育成を通して、人類の未来と地域社会の発展に貢献していきます。

詳しくは <https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals/> を参照ください。

◇山岳流域研究院のアドミッション・ポリシー◇

【育てる人間像】

山岳流域研究院では、高度な専門科目群により養われる高度な専門性、フィールドを活用した実習等により身に付くフィールドスキル、分野横断型の履修により得られる幅広い視野、英語科目の履修や研究発表を通して磨かれるコミュニケーション能力を持ち合わせ、静岡はもとより、日本各地、更には海外において、流域が有する共通課題の解決に資する人材を養成する。

【目指す教育】

山岳流域研究院では、自然科学を中心に経済・社会も視野に入れた幅広い分野にわたる教育を行うことにより、自然科学に対する専門知識だけでなく、合意形成能力、経済・社会に対する視野を併せ持ち、山岳流域における自然生態系の喪失や、災害の多発、中山間地の過疎化と産業衰退などの流域が有する課題を解決できる人材の養成を目指す。

【求める学生像】

山岳流域に内在する自然環境及び社会に関する諸問題に対して強い関心があり、自らが専門知識やフィールドスキルを身に付けることで、社会貢献や関連科学分野の発展に対する強い意欲を持っている学生を求める。さらに、国際的な感覚を有し、海外の学生や研究者と協働して学修及び研究や開発を遂行できる学生を求める。

【入学に必要とされる資質・能力】

学士課程の個別的な専門分野で形成されるべき、基礎的な知識と能力が必要である。また、これらの知識と能力を応用できる思考力、判断力及び表現力が必要である。さらに、フィールドスキルの修得や流域を俯瞰できる視野の獲得についての意欲が必要である。

【入学者選抜の基本方針】

《一般入試》

1. 選抜方針

山岳流域学の学問分野において、将来、社会の中心的な役割を担う実務者や研究者の育成を目指し、入学後の勉学と研究活動を遂行し得る能力及び学力について、以下の各試験で判断する。

①学力試験（専門科目）

（口頭試問による。）

②面接試験

2. 判定方法

①学力試験、面接試験の得点を総合して、専門分野ごとに高得点の者から順に選抜する。

②以下のいずれかに該当する場合は不合格とする。

（1）学力試験（専門科目）の得点が50%に満たない場合

（2）面接試験の得点が50%に満たない場合

③出願書類は、面接試験の評価の基礎資料として活用する。

I 12月入試

1 募集人員

若干名

2 出願資格

令和9年3月末日をもって、次のいずれかに該当、あるいは該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号。以下この条において「法」という。）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする場合には、大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者
- (11) 大学に3年以上在学した者であって、大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (12) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者であって、大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (13) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (14) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者であって、大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

(注) 上記(9)～(10)の出願資格及び(11)～(14)の飛び級(p.10参照)に該当する者については事前の審査を行います。該当者は、令和8年10月2日(金)までに出願書類提出先に必要書類を請求してください。

3 出願手続

(1) 出願期間

令和8年10月26日（月）～10月30日（金）の平日9時～12時30分，13時30分～16時
郵送の場合は，令和8年10月30日（金）16時までに必着のこと。

(2) 出願方法

出願書類及び検定料を一括とりそろえて出願期間内に下記あて提出してください。
郵送の場合は，必ず「速達・書留」とし，封筒に「大学院山岳流域研究院出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願書類提出先

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学大学院山岳流域研究院担当（農学部内）
TEL 054-238-4852, 4815
FAX 054-237-9362

4 出願上の注意

専門分野と担当教員については，p. 11～13の「静岡大学大学院山岳流域研究院の概要」を参照し，出願前に志望する教員に必ず連絡をとり，研究テーマや指導の可能性について相談してください。
なお，不明な点については山岳流域研究院担当（農学部内）に問い合わせてください。

5 出願書類及び検定料

1	入学志願票	本研究院所定の用紙に必要事項を記入のうえ写真を貼付したもの
2	受験票	本研究院所定の用紙に必要事項を記入したもの
3	成績証明書	出身大学の学長又は学部長が記入作成し，厳封したもの
4	卒業又は卒業見込証明書	出身大学の学長又は学部長が記入作成し，厳封したもの
5	検定料 （払込受付証明書）	30,000円を同封の「払込取扱票」により，郵便局の受付窓口で払い込み，「払込受付証明書」を本研究院所定の用紙に貼付したもの
6	あて名票	本研究院所定の「合格通知受信用あて名票」及び「入学手続案内あて名票」に郵便番号，住所，氏名を記入したもの
7	返信用封筒	長形3号の封筒(23.5cm×12cm)に郵便番号，住所，氏名を明記し，410円切手（速達）を貼付したもの
8	在留カードの写し（両面）	日本国籍を有しない者のみ
9	受験許可書	現在，官公庁・会社等に在職中の者で入学後も在職する場合のみ提出（その長が発行したもの）
10	学位記の写し又は学位授与証明書	出願資格(2)による学士の学位を授与された者は，学位記の写し又は学位授与証明書を提出すること。なお，見込みの者は，当該「卒業見込証明書」又は「学位授与申請受理証明書」（様式任意：学位が得られなくなった場合は，速やかに通知する旨の記載があるもの）を提出してください。

（※）出願書類及び検定料に関する問い合わせは，「3 出願手続の(3) 出願書類提出先」まで，ご連絡ください。

6 入学者選抜方法

(1) 選抜方針

山岳流域に関する学問分野において、将来、社会の中心的な役割を担う実務者や研究者の育成を目指し、入学後の勉学と研究活動を遂行し得る能力及び学力について、以下の各試験で判断します。

①学力試験（専門科目） 配点：100点

（口頭試問による。）

②面接試験 配点：50点

(2) 判定方法

①学力試験、面接試験の得点を総合して、専門分野ごとに高得点の者から順に選抜します。

②以下のいずれかに該当する場合は不合格とします。

(1) 学力試験（専門科目）の得点が50%に満たない場合

(2) 面接試験の得点が50%に満たない場合

③出願書類は、面接試験の評価の基礎資料として活用します。

● 専門科目^(注)は、志望する「専門分野及び試験科目」から1つを選択してください。

(注) 学力試験（専門科目）一覧表はp.9のとおりです。

7 試験日時

令和8年12月3日（木）

10:00～12:00 学力試験（専門科目）、面接試験

【受験上の注意】

(1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、受験を停止し、試験を無効とします。

ア 出願書類や試験上の書類への虚偽の記載や改ざん、又は虚偽の申告をすること

イ カンニングおよびカンニングの手助け

ウ 監督者等の指示に従わないこと

エ 試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

(2) 試験時間中に使用することが認められていない物、又は身に付けることを禁止している物品を所持又は使用した場合、若しくは試験時間中に当該物品が発見された場合には、不正行為とみなすことがあります。

(3) 提出書類又は試験に関して不正行為等疑義が生じた場合には、本学は必要に応じて追加的な確認を行うことがあります。また、悪質な不正行為等が認められた場合には、関係機関への通報又は警察への被害届の提出等、法的措置を講ずる場合があります。

8 試験場所

静岡大学農学総合棟（静岡市駿河区大谷836）

9 合格発表

令和8年12月11日（金）（12時発表予定）

山岳流域研究院ウェブサイト（<https://www.shizuoka.ac.jp/sangakuryuui/admission/>）に掲載します。また、合格者に直接郵便にて通知します。

10 確約書の提出

合格者には入学確約書（本研究院所定の用紙）を郵送しますので、本人署名の上、令和8年12月18日（金）までに提出してください。期日までに提出されない場合は、辞退したものとして取り扱います。

11 入学手続

令和9年3月に行います。

なお、詳細及び必要書類は、令和9年2月下旬に合格者へ別途通知します。

12 入学料及び授業料

(1) 入学料 282,000円《令和8年度実績額》

(2) 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）《令和8年度実績額》

(注)①前期分の授業料は、令和9年4月1日（木）から同年4月30日（金）までに納入してください。

②入学手続き時に納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。

③本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

④在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

13 注意事項

- (1) 学力試験，面接試験には，必ず受験票を携帯してください。
- (2) 出願後の提出書類の内容変更は認めません。
- (3) 払込後の入学検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料の返還請求ができる場合
 - ア 検定料を払い込んだが，本学大学院に出願しなかった場合
 - イ 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
 - ウ 出願書類，出願要件に不備等があり，出願が受理されなかった場合
 - ② 返還する検定料の金額
志願者本人の申し出により二重払い込み分又は全額を返還します。ただし，返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。
 - ③ 検定料返還請求の方法
上記のア又はイに該当する場合は，便せん等を使って，次の 1～8 を明記した検定料返還請求書を作成し，必ず「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」又は「振替払込請求書兼受領証」を添付して，令和 8 年 11 月 6 日（金）〔必着〕までに静岡大学農学部学務係山岳流域研究院担当（〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836）へ郵送してください。
また，ウの場合は，出願書類返却時に「検定料返還請求書」を同封しますので，必要事項を記入の上郵送してください。

静岡大学大学院入学検定料返還請求書

- 1 返還請求の理由
- 2 入試区分（12 月入試等）
- 3 出願しようとした大学院・研究院名
- 4 氏名（フリガナ）
- 5 現住所
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額
- 8 返還金振込先・金融機関名（金融機関コード），支店名（支店コード）
 - ・預金種別（当座・普通），口座番号
 - ・口座名義人（フリガナ）
 - ・口座名義人が志願者と異なる場合は，志願者との続柄

- (4) 合格者のうち，官公庁又は会社等に入学後も在職する者は，入学手続きの際にその長又は代表者の就学承認書を必要とするのであらかじめ用意しておいてください。
- (5) 出願書類の請求及び入学試験に関する照会等は，p. 4 の「3 出願手続の (3) 出願書類提出先」あて郵便で行ってください。
なお，出願書類の請求にはあて先を明記した返信用封筒〔角形 2 号封筒（33cm×24cm）〕に 270 円切手を，入学試験に関する照会には定形封筒に 110 円切手を貼付したものを送付してください。
- (6) 願い出により入学金・授業料を免除することがありますが，詳細は合格者に案内します。
- (7) 大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料等の特別措置について
大規模災害に被災した志願者の入学検定料について，志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除又は返還します。
詳しくは，専用サイト（<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/tokubetsusochi>）をご覧ください。
- (8) 出願に際して記入した事項及び提出した書類については，すべて事実に基づき正確に記載・作成してください。虚偽の記載，改ざん又は不正が判明した場合は，出願の受理後または入学試験実施後であっても，合格や入学許可の取消し等の措置を講ずることがあります。

14 安全保障輸出管理について

静岡大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め，外国人留学生の受入に際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」

静岡大学規則集 <https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.html>

第1編 全学共通＞第2章 組織・運営＞静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」

<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

ENGLISH PAGE <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html>

Ⅱ 障害等のある入学志願者の受験上の配慮

障害等のある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願する前に本研究院と相談する必要がありますので、下記により申請してください。

相談の結果は決定次第、本人に連絡します。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申 請 期 限	原則として出願の1か月前まで
申 請 の 方 法	『受験上の配慮申請書』に、『障害者手帳』の写し又は医師の『診断書』を添えて申請してください。 なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連 絡 先	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学大学院山岳流域研究院担当（農学部内） TEL 054-238-4852, 4815 FAX 054-237-9362

Ⅲ 大学院入試成績情報の提供

成績情報の開示 当該年度の修士課程における受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を令和9年4月15日（木）から5月17日（月）まで受け付けます。詳細は、静岡大学学務部入試課までお問い合わせください。

学務部入試課 TEL 054-238-4464（直通）
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

入試問題の閲覧 大学院の過去の問題については、農学部学務係及び入試情報閲覧室（静岡キャンパス共通教育A棟4階）で閲覧することができます。

Ⅳ 個人情報の取扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、次のとおり取扱います。

1. 出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、(1)入学者選抜（出願処理、選抜実施）、(2)合格発表、(3)入学手続業務、(4)入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。
2. 入学者の個人情報については、(1)教務関係（学籍、修学指導等）、(2)学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、(3)授業料徴収、(4)入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。
3. 上記1.及び2.の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。
受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部または一部を提供しますが、提供する個人データについては、本学において必要かつ適切な監督措置を講じます。

V 学力試験（専門科目）一覧表

専門分野及び試験科目
森林防災工学
広域生態学
理論経済学
地域産業学
造林学
植物系統分類学
森林遺伝育種学
森林水文学
魚類生理学

出願資格（9）～（10）の事前審査に関する案内

1. 選抜の概要

- (1) 特別選抜試験は実施せず、一般志願者と同一の試験を行います。
- (2) 出願受付前に、出願資格の有無を判定する「事前審査」を行います。

2. 日 程

項 目	日 程
事前審査書類請求期限	令和8年 10月 2日(金)
〃 提出期限	10月 9日(金)
事前審査	10月 13日(火)～10月 16日(金)
事前審査結果通知	10月 19日(月)
一般募集入試出願期間	10月 26日(月)～10月 30日(金)
入学試験	12月 3日(木)
合格発表	12月 11日(金)
入学手続	令和9年 3月 5日(金)

出願資格（11）～（14）の“飛び級”に関する案内

1. 選抜の概要

- (1) 特別選抜試験は実施せず、一般志願者と同一の試験を行います。
- (2) 出願受付前に、出願資格の有無を判定する「事前審査」を行います。
- (3) 入試合格者に対しては、令和9年3月の時点で3年次の学業成績を判定（最終審査）し、所定の単位を優れた成績をもって修得することができなかった場合には、入学を許可しません。

2. 日 程

項 目	日 程
事前審査書類請求期限	令和8年 10月 2日(金)
〃 提出期限	10月 9日(金)
事前審査	10月 13日(月)～10月 16日(金)
事前審査結果通知	10月 19日(月)
一般募集入試出願期間	10月 26日(月)～10月 30日(金)
入学試験	12月 3日(木)
合格発表	12月 11日(金)
成績証明書提出期限	令和9年 3月 1日(月)
成績判定(最終審査)	3月 2日(火)
成績判定結果通知	3月 2日(火)
入学手続	3月 5日(金)

3. 出願資格認定基準

- (1) 静岡大学農学部の子生については、次のとおりとします。
 - ① 2年次までに開講されている科目全単位数の95%以上を修得していること。なお、必修科目は全単位数を修得していること。
 - ② 履修した全科目の85%以上が、優（又はA）以上であること。
- (2) 静岡大学農学部以外の子生については、上記の基準に準じて審査を行います。

4. 3年次の成績判定

- (1) 3年次までの成績証明書を、令和9年3月1日（月）までに提出していただきます。
- (2) 最終審査は、『3. 出願資格認定基準』に準じて行います。
- (3) 専修する分野に関連の深い専門科目は、特に成績優秀であること。

静岡大学大学院山岳流域研究院の概要

近年、社会情勢の変化や気候変動に伴い、山岳域を水源に持つ流域において、中山間地の過疎や衰退、気候変動による自然生態系の喪失、災害の多発といった様々な課題が顕著化しています。これらの課題は、いずれも自然環境と人間社会との関わり方に関するものであり、自然科学だけでなく人文社会科学を含んだ幅広い視野のもと解決に取り組む必要があります。また、山岳、産業・社会、河川、海洋を含む流域内の多様なフィールドに対応できるフィールドスキルや、住民や事業者を含む流域内のあらゆるステークホルダーの協力を推進できる調整能力・啓発能力も課題解決に必要となります。

そこで山岳流域研究院では、高度な専門科目群により養われる高度な専門性、フィールドを活用した実習等により身に付くフィールドスキル、分野横断型の履修により得られる幅広い視野、英語科目の履修や研究発表を通して磨かれるコミュニケーション能力を持ち合わせ、静岡はもとより、日本各地、更には海外において、流域が有する共通課題の解決に資する人材を養成します。さらに山岳流域研究院で幅広い視野と高度な専門知識を学んだ人材は、山岳流域の自然環境に関する研究をリードする研究者や、新たな事業を展開する経営者としての活躍も期待されます。

山岳流域研究院の内容

専門分野	担当教員	主要授業科目	現在の研究内容
森林防災工学	教授 今泉 文寿	山岳流域環境学概論A 山岳流域環境学概論B 山岳流域コミュニケーションスキル	森林が有する防災機能の評価 山地流域における土砂移動現象の解明 ドローンによる地形計測を活用した土砂災害リスクの評価
	准教授 興水 健一	山岳流域防災学特論 砂防工学演習 山岳流域学特別研究	
広域生態学	教授 王 権	Advanced Forest Ecology I Advanced Forest Ecology II Environmental Remote Sensing A 山岳流域学特別研究	生理生態学及びリモートセンシングの結合・流域レベルでの炭素・水 平衡モデル リモートセンシングによる生態系 および環境評価
	准教授 菌部 礼	山岳流域環境学概論B 山岳流域フィールド実習B Field practice in Tenryu forests: from plantation to natural laurel forest Environmental Remote Sensing B 山岳流域学特別研究	
理論経済学	教授 鐵 和弘	経済発展論演習A 経 済発展論演習B 山岳 流域学特別研究	開発途上国の経済発展と都市イン フォーマルセクターに関する研究
地域産業学	教授 横田 宏樹	地域産業論 山岳流域学特別研究	地域産業の成長・危機に対する制度 的調整に関する研究 地域的ものづくりモデルの構築によ る森林資源の高付加価値化 国内木製家具産地の研究
造林学	教授 飯尾 淳弘	山岳流域環境学概論A 山岳流域環境学概論B 山岳流域フィールド実習A 山岳流域フィールド実習B Field practice in Tenryu forests: from plantation to natural laurel forest 森林生理生態学特論 I 森林生理生態学特論 II 山岳流域学特別研究	森林の林冠構造と森林生態系管理 技術・天然林の動態センサス 樹木の環境応答・適応機構 森林における生理生態プロセスの 評価・解明
	准教授 檜本 正明	山岳流域環境学概論A 森林生態学演習 森林生態管理学演習 造林学特論 I 造林学特論 II 山岳流域学特別研究	

専門分野	担当教員	主要授業科目	現在の研究内容
魚類生理学	教授 日下部 誠	動物生理学特論 山岳流域学特別研究	魚類における環境適応メカニズムの解明
植物系統分類学	教授 徳岡 徹	植物分類学特論 山岳流域学特別研究	植物の系統分類 植物生殖器官の比較解剖
森林遺伝育種学	准教授 花岡 創	森林・林業デジタル技術演習 山岳流域フィールド実習 A Field practice in Tenryu forests: from plantation to natural laurel forest 山岳流域学特別研究	樹木を対象とした形質評価技術の開発，形質の遺伝性の解明，繁殖生態学
森林水文学	准教授 江草 智弘	山岳流域環境学概論 A 森林水文学特論 I 森林水文学特論 II 山岳流域学特別研究	森林における水・物質循環過程の解明

大学院入学試験に関する問い合わせ先

静岡大学大学院山岳流域研究院担当（農学部内）
（〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836）

TEL 054-238-4852, 4815

FAX 054-237-9362